

# 謹賀新年

おばなざわ  
市議会だより

116号

令和5年1月15日発行

## 宮沢小学校 郷土Yamagata ふるさと探究コンテスト 小学生の部 大賞受賞



# 風よ 未来へ

### 12月定例会

特集 7~8ha のこれから	2
12月定例会	6
10月臨時会	9
広域事務組合議会	10
行政調査レポート	12
一般質問	14
大好き尾花沢	19
私のひとこと	20

### 私のひとこと

この度、本校五・六年複式学級チーム「さわのはな広め隊」の活動が、県教育委員会主催「郷土Yamagataふるさと探究コンテスト小学生の部」で大賞に輝きました。宮沢小学校開校以来「くらし」と「まなび」を自ら創る子ども」を教育目標に地域のみなさんとともに歩んできました。明德小学校、高橋小学校が統合されてからこれまでの十年間の活動を高く評価していただいたものと嬉しく思います。また、昨

宮沢小学校校長  
竹笠理恵子さん



インタビュー

### ①大賞受賞にあたりひとことお願いします。

## ～ 宮沢小学校開校から10年 風よ! 未来へ ～

年は、開校十年を祝って地域の方々と共にコンサートと花火の夕べ「天翔」、全校生徒による創作ミュージカル「風よ未来へ」に取り組みました。「力を合せれば何とかなる」「粘り強く取り組めば結果が出る」を体感した子どもたち。「創る」風が、宮沢にはこれからも吹き続けると信じています。

### ②子どもたちの声をお聞かせください。

- 一人一人の花火を見られてよかったです。  
(三年 安野 莉望)
- あんなに近くで花火を見たのは初めてだったので、とても迫力があつた。  
(四年 柴崎 成琉)
- ミュージカルはきんちようしたけど、風になつて走つたのが楽しかった。  
(二年 加藤 駿汰)
- 初めてでぎんちようし

たけど、大きな声でせりふが言えたのでよかった。  
(二年 岸 杏寿)
- 脚本は、「自ら創る」ことをテーマにして考えた。成功してよかった。  
(六年 加藤 希)
- 修学旅行の時「さわのはな」を奈良の人に紹介できて、少しでも広められた。  
(五年 押切 蒼空)

### ③地域の反応はどんなですか。

- 今回の活動を通して、たくさんの人とつながり、「さわのはな」を広めることができうれしかった。文雄さん、尾形さん、先生方、チームのみんなに感謝です。  
(六年 齊藤 慶)
- 児童一人一人の名前と一緒に打ち上げられた花火は感動的だった。「みんながんばれ」と応援しているように感じた。  
(ミュージカルラストの



「ハナミズキ」の合唱に涙が出てきた。「100年続きますように」と一年生も大きな口を開けて歌っている姿が何とも言えなかった。宮沢の風がずっと吹き続けてほしいと思った。子どもたちの「知りた」という気持ちに圧倒された。質問が途切れることなく、また、自分たちがあまり考えたことのないことまで聞くことができ、私たちも負けていられないなと思った。

### お詫ごと訂正

前号115号を次の通り訂正してお詫びいたします。

- (10P) 「①農業の振興政策」を「①農業の振興政策」に
- (18P) 2段目の4行目「農地改革」を「農地政策」に

### あしがき

新年あけましておめでとございます。今回の議会だよりはいかがでしたか。私たちは、1年前の112号に掲載した市民からのアンケート結果を大切に、多くの方々に読んでいただけたらと思います。発行目的や中身が伝わるよう心がけ、これからも作成してまいります。  
(和田 哲)

### 発行責任者

- 議長 青野 隆一  
市議会だより編集委員  
委員長 鈴木 清  
副委員長 和田 哲  
委員 塩原未知子  
委員 星川 薫  
委員 菅野 喜昭  
委員 安井 一義  
委員 鈴木由美子

発行/山形県尾花沢市議会 編集/市議会だより編集委員会

## 候補地をどう評価したか

〈建設候補地の比較評価表〉

アドバイザー3名と事務局の4者で評価した評価表をもとに、候補地⑤を検討委員会で最適地として選定し、教育委員会に提言書を提出。

評価項目	評価項目の内容	候補地評点				
		1	2	3	4	5
I. 校地環境の評価		15.6	14.0	15.8	14.8	18.0
1. 自然災害	① 洪水、雪崩、地滑り、土砂崩れ等の自然災害に対し安全	4.8	5.0	5.0	5.0	5.0
2. 地質	② 地質及び地盤が良好で、危険な埋設物や汚染、地震や陥没のない土壌	3.5	2.0	3.5	3.0	3.5
3. 地形	③ 危険な高低差や深い川などが無い安全な地形で、大規模な造成の必要がない	2.5	2.0	2.5	2.3	4.5
4. 環境景観	④ 日照、空気、見晴らし、景観、排水の便等が良好	4.8	5.0	4.8	4.5	5.0
II. 周辺環境の評価		25.5	24.0	23.6	27.9	29.3
1. 周辺環境	⑤ 頻繁に車が出入りする施設がない	3.5	3.5	3.5	4.0	5.0
	⑥ 騒音、振動、臭気等を発生する施設がない	3.0	3.0	2.3	5.0	3.8
2. 公共施設	⑦ 社会教育施設、社会体育施設と連携しやすい	1.5	1.5	1.5	3.3	4.5
3. 生活基盤整備	⑧ 主要道路との接続性が良い	5.0	4.5	4.5	2.0	4.0
	⑨ 電力、通信、上水道、下水道の整備	2.5	2.0	2.0	4.8	3.5
4. 教育環境	⑩ 風俗営業、性風俗関連特殊営業の営業所等、教育上ふさわしくない施設がない	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	⑪ 学校建設が周辺施設への迷惑にならない	5.0	4.5	4.8	3.8	3.5
III. 通学環境の評価		15.0	18.2	18.4	20.0	24.9
1. 徒歩通学	⑫ 歩道、横断歩道、信号機、街路灯等の安全施設の整備状況、冬期間の歩道を確保できる	1.8	2.8	2.8	3.0	4.0
	⑬ 児童生徒数が多い地域から近く、徒歩通学距離が短い	1.8	3.0	3.0	4.0	4.8
	⑭ 空き家、水路、死角が多い所、人通りが少ない所、熊が出没する所を避けられる	1.8	2.3	2.3	3.0	4.8
	⑮ 暴風雨、地吹雪の発生が少ない	1.3	2.3	2.5	4.5	3.8
2. スクールバス通学	⑯ 各地区からの乗車時間とアクセス環境が良い	4.8	4.5	4.5	4.0	3.0
	⑰ 一定幅以上の道路に接し渋滞の原因とならない	3.5	3.3	3.3	1.5	4.5
IV. まちづくりの観点からの評価		6.3	6.6	6.3	10.8	14.3
1. まちづくり	⑱ これまでの定住・移住策として進めてきた宅地造成や公共施設の集約化を継続させ、市の主要施設から近く魅力ある市街地環境づくりが期待できる	1.8	1.8	1.8	2.8	5.0
	⑲ 都市計画マスタープラン並びに立地適正化計画が目指す、都市機能の集約化、効率化を図り、生活利便性の高い、コンパクトな都市構造の実現に結びつく	1.5	1.8	1.5	3.5	4.8
	⑳ 地域住民の徒歩及び車の利便性が高い	3.0	3.0	3.0	4.5	4.5
総合評点		62.4	62.8	64.1	73.5	86.5
順位		5	4	3	2	1

# よりよい小中学校の建設のために

## ～建設予定地は決まった～

調査はこれから  
小中学校の建設予定地が総合教育会議で決定されました。その中で、この決定に対して市民からの声も議会に届いております。議会では用地調査等の予算は可決していますが、こうした市民の声にこたえるため、特集「7～8」を組みました。



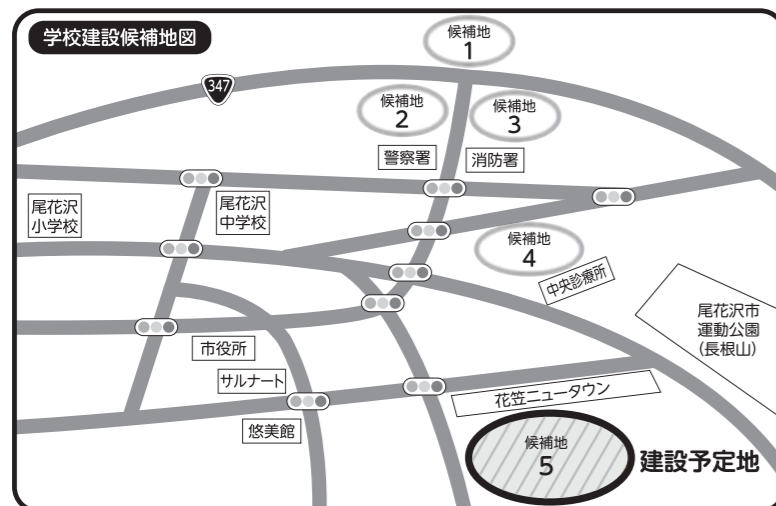
特集

# 7～8

ヘクタールのこれから



※写真は(株)成和技術様より提供いただきました。



▲詳しくはこちらより「小中学校建設検討委員会」議事録(尾花沢市HPより)

# 特集 7.8

ヘクタールのこれから

## こんな質疑がありました

総務文教常任委員会では、9月6日、10月3日、31日に教育委員会から、建設予定地の決定について報告を受け、疑問点など質疑を行いました。その内容をQ&Aの形でお伝えします。本議会での議論はこれからです。

**Q1** 昔、亜炭鉱があった場所が候補地⑤になるが、陥没はしないのか。

**A1** 建設予定地の地質調査をしっかり行い、安全な工法で建設していく。

**Q2** 社会教育・社会体育施設と連携しやすい場所か。

**A2** 候補地⑤は、北西約300mに悠美館・えほんの杜・サル

ナートがあり、北東約500mに尾花沢市総合運動公園があるため、評価点が1番高い。



えほんの杜

**Q3** スクールバス通学にとって、アクセス環境および乗車時間が短い候補地はどこか。

**A3** 候補地①が、各地区公民館からの距離と乗車時間もつとも短い。(最大差1.5分)

〈参考：距離と時間の比較〉

※[時速30km]として計算

評価点	候補地	距離	時間
4.8	①	6.4km	12.9分
4.5	②	6.6km	13.1分
4.5	③	6.6km	13.1分
4.0	④	6.7km	13.3分
3.0	⑤	7.2km	14.4分

〈参考：児童数〉 ※調査時

福原地区	74人
宮沢地区	34人
玉野地区	56人
常盤地区	25人

**Q4** 本町地区の児童にとって、徒歩通学距離が短い候補地はどこか。

**A4** 候補地⑤が、徒歩通学距離の平均がもつとも短い。(最大差0.6km)

〈参考：距離と時間の比較〉

※[分速64m=時速3.8km]として試算

評価点	候補地	距離	時間
1.8	①	1.8km	27.3分
3.0	②	1.6km	24.7分
3.0	③	1.6km	24.7分
4.0	④	1.3km	20.6分
4.8	⑤	1.2km	18.0分

〈参考：児童数〉

※令和9年開校時

禁町周辺	43人
北町周辺	14人
新町周辺	112人
荒橋周辺	12人
上町周辺	71人
朧気周辺	5人

**Q5** 都市計画マスタープランに地適正化計画のまちづくりに適した候補地はどこか。

**A5** 生活利便性の高い、コンパクトな都市構造の実現に結びつきやすい候補地⑤が適している。



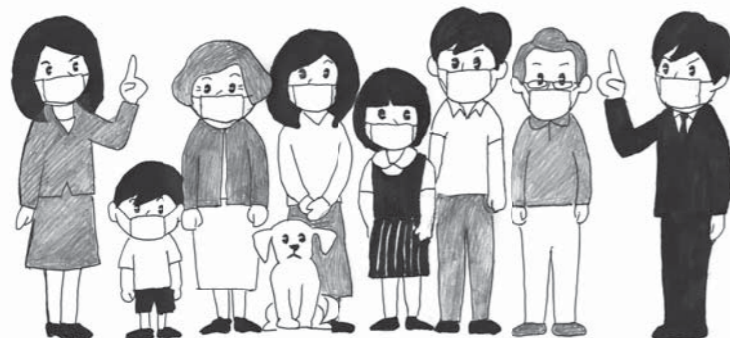
第2次尾花沢市都市計画マスタープランと立地適正化計画より

**要望** 周囲の臭いや騒音など、環境面を考慮してほしい。

遊べる遊具がある学校がいいです

学校が近くなって助かります

## 市民の声を聞きました



中庭で遊べる学校がいいです

安全に歩いて通える環境だけは必ず整えてほしい

スクールゾーンの整備をしてほしい

遠いと感じるけれど安全な通学に配慮してほしい

むかし、亜炭鉱があったと聞いているので、しっかり調査してほしい

## これまでの経緯

- 小中学校建設予定地が決定された経緯は
- R2年度
  - ・建設の面積が7〜8ha確保できる5ヶ所を抽出
- R3年度
  - ・候補地ごとに周辺環境調査などを実施
- R4年度
  - ・5月、「尾花沢市小中学校建設検討委員会」を設置

- ・3つの視点(教育・生活環境、アクセス、まちづくり)で比較検討を行う
- ・アドバイザー3名、委員会事務局の計4者の評価表を検討委員会で検討し候補地⑤を選定
- ・9月、10月、総務文教常任委員会に報告
- ・10月、総合教育会議で「候補地⑤」を小中学校の建設予定地に決定
- ・11月、地権者に統合小中学校建設事業説明会を行う

## これからのスケジュール

内容	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
小中学校基本構想・小学校基本計画	→					
地形・用地測量・地質調査		→				
用地交渉・取得			→			
基本設計・実施設計		→	→			
都市計画用途見直し		→	→			
農振除外・農地転用		→	→			
造成設計		→	→			
開発許可		→	→			
造成工事			→			
建設工事			→	→		
外構工事				→		
供用開始					→	

# 原油・物価高騰支援 全会一致で可決

12月  
定例会  
2022

## 一般会計補正予算 4億7,533万円を追加

### 補正予算の一覧

一般会計予算	4億7,533万円	
特別会計	国民健康保険	1億7,575万円
	中央診療所	▲10万円
	簡易水道	1,481万円
	農業集落排水事業	164万円
	介護保険	20万円
	後期高齢者医療保険	1,317万円



### 「雪とスイカと花笠のまち ふるさと尾花沢応援基金」 寄附者記念品代

ふるさと納税の申請件数増加に伴い返礼品に関わる経費を増額補正するもの。

**7,600万円**

### 新型コロナウイルス感染症対応支援金

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げ減少が続いている「徳良湖温泉花笠の湯」を事業継続に向け支援する。

**786万円**



### 配合飼料価格高騰対策 支援事業費補助金(第3弾)

県の令和4年度山形県飼料価格高騰対策支援事業助成金の上乗せとして畜産経営者コスト増を緩和し畜産物の生産力を維持するための補助金。

**6,765万円**

### 公共保育所Wi-Fi環境整備事業

公立保育所における事業のICT化を推進することにより新型コロナウイルス対策に伴う職員の事務負担軽減と利用者の利便性を図るもの。

**425万円**



地域子育て等拠点施設「ABESA」が入居していた民間施設が、令和4年11月末に閉館。これに伴って、こどもセンター等に関する条例が廃止されました。(議第70号)  
尾花沢市が掲げる目標の1つ、子育て支援拠点の機能強化を今後どうしていくか、本格的な議論が求められています。

指定管理者が決まりました(R5年4月～) 議第71号～76号

施設名	受託者(指定管理者)	指定年数	募集方式
尾花沢市中心商店街 活性化センター	尾花沢市商店街協同組合	5年	非公募
尾花沢市共同福祉施設	尾花沢市商工会	5年	非公募
尾花沢市徳良湖周辺施設等	(株)尾花沢市 ふるさと振興公社	3年	非公募
尾花沢市花笠高原周辺施設			
尾花沢市徳良湖温泉 「花笠の湯」			

### 定例会のあらまし

令和4年12月定例会が、11月30日から12月8日まで9日間の会期で開催されました。一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例の改正・設定・廃止、各種指定管理者の指定など17議案、教育委員の人事案件1件を原案通り可決しました。

# 10月臨時会

10月31日

## 肥料・配合飼料価格高騰による農業経営者支援

### 一般会計補正予算(第7号)

### 肥料価格高騰対策支援事業……………3,350万円

肥料価格が高騰を続ける中、農業経営者のコスト増を緩和し、農産物の生産力を維持するため、化学肥料の2割低減の取り組みを行う農業経営者を対象として補助金を交付するもの。

### 配合飼料価格高騰対策支援事業(第二弾) ……1,975万円

配合飼料価格が高騰を続ける中、畜産経営者のコスト増を緩和し、畜産物の生産力を維持するため、畜産経営者を対象として補助金を交付するもの。

**問** 一般農家にも支援すべきではないか。本市は和牛生産地でもあり、化学肥料からの脱却のため堆肥などの有機肥料の活用を推進していくべきと考える。(菅野 修一)

**答** 農家全般にという思いは同じではあるが、肥料の原材料の多くを輸入に頼っているため、国内生産も滞っている。農家や事務の混乱を避けるため、国・県と同様の対象者の支援とした。



### 運送関連事業者等支援金……………300万円

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響や、昨今の原油価格や物価高騰など、多重に影響を受けているタクシー、バス、一般貨物運送等の運輸関連事業者が、「地域の公共交通」及び「生活を支える物資輸送」の運営維持ができるように支援するもの。

**問** 市内のトラック業者やバス・タクシー業者等が、県がすでに実施している支援給付金に、上乗せで受給するための申請要件を改めて確認したい。あわせて、市の周知方法についても伺う。(和田 哲)

**答** 県が実施する「運送事業者原油価格高騰支援給付金」または「地域公共交通事業者原油高騰等支援金」の支給要件に該当することが支給要件となる。市では、これを独自に支援する内容だ。

周知については、関係する市内事業者の車両登録台数を事前に把握し、市民税務課とも連携しながらピンポイントにお知らせする。



# 12月定例会における議案の審議

### 議第61号 一般会計補正予算

星川 薫

**問** 子育て支援対策費の備品購入費の財源は何か。

**答** ふるさと尾花沢応援基金の対応。

**問** 基幹集落センター改修において緊急防災・減災事業債を活用したが、備品購入事業で充当できる補助事業はないのか。

**答** 補助事業はなかった。

**問** 国の補助事業がない場合、市として今後の補助事業の整備について見解を。

**答** 財源確保は厳しい状況にある。歳出の見直しやふるさと納税などを考えている。

**問** 「書かない窓口」はいづころから運用予定か。

**答** 令和5年2月から国の指針にそって運用する。

**問** 中止となった「絆」駅伝に代わるものを何か考えているのか。

**答** 令和5年度に新たな大会を開催するため実行委員会を立ち上げる。予備費の補正は何のためか。

### 議第74号 徳良湖周辺施設等の指定管理者の指定について

和田 哲

**問** ①活動の実績を考慮して決定したいとあったが、具体的にはどのようなものか。

**答** ②指定管理の期間を3年とした理由は何か。

**問** ③これまで、公募に向けてどのように取り組んできたか。

**答** ①この3年間コロナ禍においても、実績は上がっていると判断した。

**問** 指定管理の評価期間を短くして、評価をしたい。

**答** 令和4年10月の産業厚生常任委員会で説明して、指定の準備をしてきた。

**問** 徳良湖温泉「花笠の湯」の指定管理者の指定について

**問** 徳良湖温泉「花笠の湯」の赤字が株式会社社ふるさと振興公社の経営を圧迫している。燃料費等の高騰も予想され、公社の努力だけでは限界ではないか。市として黒字転換への具体的な道筋を示していただきたい。

**答** 市と公社が一体となつて、どのように改善していくのか、またこれからの指定管理を続けられるのか議論していきたい。



### 議第75号 徳良湖温泉「花笠の湯」の指定管理者の指定について

鈴木 裕雅

**問** 公社と議員間で任意の勉強会をした。公社の「経営改善計画」を議会に示してもらってから議論すべきではないのか。

**答** 市民の憩いの場でもあったため、継続させていきたい。「経営改善計画」は、年度内を目標に作成したいと報告を受けている。

**問** 花笠高原施設等の指定管理者の指定について

**問** やはり公募すべきではないか。また、指定期間を3年にした理由は何か。

**答** 前回は令和2年度から3年間指定したが、コロナ禍で適切な評価ができなかったため、非公募とした。

○：賛成 ×：反対 /：議長 欠：欠席

各議案の賛否状況	菅野 修一	星川 薫	安井 一義	菅野 喜昭	大類 好彦	小関 英子	伊藤 浩	鈴木 裕雅	鈴木 清	和田 哲	奥山 格	鈴木 未美子	塩原 未知子	青野 隆一
議第74号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	/	欠
議第75号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	/	欠
議第76号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	/	欠

青野議長欠席のため塩原副議長代行

# 工房のさん

# 大好き尾花沢 Vol.6

Garastu E Cucina(スタジオ・カフェテリア・ギャラリー)  
 (鶴子257-1) TEL 0237-48-7756



えのもと のりお みさこ  
 榎本 良夫さん・美佐子さん(出身 東京都)

尾花沢に来て、15年も経つんだなあ。東京の仕事を離れて、工人の暮らしができる処を探していた。いくつかの候補の中から…下見に来たら空が広くて…なんとなく、此処モノづくりに良さそうかなあ。

そして、暮らしてみるといるじゃないですか。あるじゃないですか。素敵な方々、物、文化…

今でも聞かれる「おばねのどこがいいの？」一言で云えば「田舎すぎない田舎」かな。暮らしの文化水準は都会とかわらないし、むしろ素直な豊かさ多いかな。それからおばねは「東北のへそ」なんだ。東京と青森ほぼ同じ距離。酒田・鶴岡・松島・仙台青葉区はほぼ90分。横手焼きそば・喜多方ラーメン・白石温麺もほぼ同じ距離。どこでも行ける便利な位置取りで、とってもお得！たくさん走った！そして見比べてしまう。どっちがイイって…。そして「雪」。国土の3割は豪雪地帯らしいから…此処だけの話でないんじゃないかな。備えと技術があるから不安なし。除雪の腕は日本一！でも冬の間、頑張らないといけなないけどね。今までたくさんの方にお世話になりました。そしてこれからも、ごやっかいおかけすると思いますが、どうかよろしくお願いします。昨春、鶴子に引っ越しました。鶴子に、色んな方々がたくさん来てほしいなあ。



カフェテリアCucina(クチーナ)

## 追跡レポート 鶴子地区地域づくりワークショップ

令和2年秋から2回にわたり、現場を視察しながらのワークショップの締めくくりとして、思い出の館(旧鶴子小学校)にて地域づくりの振り返りと話し合いをしてきました。3回目の令和4年12月18日(日)は、山形県農村づくりプロデューサー高橋信博さんのミニ講演会で県内外の事例を聞きながら、すぐできる事、2~3年でできる事、じっくり時間をかけて地域でやって行きたい事など、鶴子地区で実現可能な「元気な夢プラン」を話し合いました。



# 広域組合議会の報告

## 北村山広域行政事務組合議会



山形県女子駅伝北村山チーム2連覇!!

令和4年10月17日に定例会を村山市議会場にて開催し、令和3年度北村山広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算の認定(歳入決算額9千914万円、歳出決算額8千814万円)についての1議案を可決した。また、12月21日に臨時会を開催し、令和4年度北村山広域行政事務組合一般会計補正予算、教育委員会委員の任命についての2議案を可決した後、北村山教育賞表彰式が開催され、北村山教育賞に武田莉奈さん(仙台育英学園高等学校3年)、北村山教育奨励賞に尾花沢中学校芸術部、小林聡太郎さん(聖光学院高等学校3年)、高橋亜珠さん(山形市立商業高等学校3年)、鈴木俊介さん(近畿大学1年)が受賞した。



北村山教育賞・教育奨励賞受賞式

## 北村山公立病院 組合議会

令和4年12月26日に第3回定例会が開催され、条例4議案と3市1町負担金の補正予算2議案を可決した。

補正予算については病床数対応分で休床の緩和措置の継続等はあるが、コロナ禍で入院患者数の減少など収益減少で繰出基準額の変動に伴うものである。第8波が到来するなかで、変異株の発生やインフルエンザとの同時発生も懸念されるが、住民ニーズに応じた医療提供に努めていく。



## 尾花沢市大石町環境 衛生事業組合議会

10月28日、組合議場にて10月定例会を開催し、令和3年度組合一般会計歳入歳出決算の認定ほか、決算認定議案4案件、剰余金の処分議案2案件、および令和4年度補正予算2案件について、慎重な審議を経て、全議案を可決した。

	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	7億1,910万円	7億1,910万円
水道会計	4億6,911万円	3億8,183万円
公共下水道会計	3億9,652万円	3億7,779万円
尾花沢市特環(銀山)公共下水道事業会計	7,165万円	7,364万円
尾花沢市特環(田沢)公共下水道事業会計	4,862万円	4,586万円

## 議会基本条例とデモテックの先進視察！

※デモグラシー(民主主義)×テクノロジー(技術)=デモテック

### 議会運営委員会

福島県 会津若松市  
茨城県 取手市

10月18日～19日

議会基本条例による市民参加型政策サイクル  
会津若松市では、市長と議会は二元代表制であるが、議会は市民の声を聴き、市民の意見を議会に反映させることよって、市長と対等になる、との認識の下、市民との意見交換会を行い、市民から出た多くの意見課題について、それを政策として検討していくために、議員間討議をし、政策討論会も行って

#### デモテックの取り組み

取手市議会では、オンライン委員会を開催している。またオンラインによる議案説明を事前に行っている。現地調査もオンラインで



取手市議場にて

行ない、市民や医療従事者との意見交換会もオンラインで開催している。また最終的には本会議までオンライン会議を認めてもらうように国に働きかけたいという。また予算書や決算書までタブレットに掲載してペーパーレス化をしている。2市とも本市において参考

## 興味関心の湧く議会だよりへ

### 議会だより委員会

秋田県 横手市  
岩手県 雫石町

10月11日～12日



「自分の色で」  
横手市議会だより  
3月号発行

秋田県横手市  
議会だより「あなたと市議会」の編集  
横手かまくらFMによる「もつと教えて！横手市議会」放送  
市民との意見交換会

岩手県雫石町  
「しずくしい議会だより」の編集  
(全国広報コンクール表紙デザイン部門金賞受賞)  
親しみやすい紙面の工夫、特集企画の作り方、写真とキャプションの使い方などを学びました。  
FM放送・議会ホームページ・SNS活用など今後の課題が分かりました。

## 画期的な図書館と移住定住への取り組み！

### 総務文教常任委員会

佐賀県 武雄市  
福岡県 筑後市  
豊前市

10月24日～26日

#### 佐賀県武雄市 図書館の運営状況

市図書館と、こども図書館が併設。リニューアルにより、指定管理者制度CCC(カルチャー・コンビニエンス・クラブ)で蔦屋書店が主体で運営。本の販売コーナーもあり、スターバックスもテナント併設。年間1500回のイベントを運営。  
福岡県筑後市  
移住定住のサポート  
本市同様の事業がほとんど、新婚世帯や技能実習生の転入により人口は増加。一般財源をなるべく使わない取り組みや、効果の薄い事業は整理する工夫。出会いの創出や都市部にPRし、移住定住をサ



武雄市こども図書館

福岡県豊前市  
定住促進の取り組み  
地域おこし協力隊は16名。空き家バンク専任職員を採用。特定空き家や管理不全空き家を増やさない取り組みとして、空き家除却後の固定資産税減免措置が取られている。

今後の委員会として  
利点や課題を整理し、移住定住促進や地域づくりのあり方を具体的に摸索するべきであると感じた。

## 街の再生・復活で活力を取り戻す！

### 産業厚生常任委員会

宮城県 南三陸町  
岩手県 釜石市  
秋田県 横手市

8月3日～5日

#### 南三陸さんさん商店街

南三陸町は地域再生のため、南三陸学びのプログラムなど震災学習プログラムで全国展開し、全国の漁港復興ネットワークと地域住民参加型に取り組む。  
(株)かまいしDMC  
2018年4月設立  
2021年6月釜石市へ出資金を返還する。  
釜石の地域全体を「屋根のない博物館」として、地域の生活や仕事を紹介する体験型ガイドツアーを開発する。観光客は地元的生活様式を知り地元の人達は魅力的な技術や経験に誇りを持ち、訪問者を受け入れる事で歴史や伝統文化を次世代に継承。



横手市たいゆう緑花園

たいゆう緑花園  
休耕田の有効活用を図り、景観形成モデル事業で点在していた畑の団地化に取り組む。食と農からのまちづくり事業  
旧大雄中学校を活用した横手市園芸拠点センターで、6次産業化で農家や加工販売の支援、平成28年よこて農業創生大学を開校し、次世代の人材育成に取り組む。



DMOかまいし



議長 青野隆一

### 冬の門が開く年

明けましておめでとうございます。今年とうさぎ年で、癸卯（みずのとう）に当たり、「これまでの努力が花開き実り始める」年になるといわれています。

私たちは、必要とされる市議会に変えるために全員で取り組んでいます。皆さまにとりましても、大きく飛躍される年になりますようご祈念申し上げます。

# どうする！ どうなる？ 尾花沢

## 8人の議員はこう質<sup>ただ</sup>した

### 12月定例会 一般質問

○囲み数字が掲載

鈴木由美子	① 間口除雪と今後の除雪体制 ② 財政計画のシミュレーション ③ 尾花沢市のICT教育が目指すものは何か
和田哲	① 尾花沢市空き公共施設解体計画の現状と今後 ② 徳良湖周辺施設整備の進捗状況および課題と判断
小関英子	① 米の消費拡大 ② 道の駅観光・防災機能 ③ 中学校の制服 ④ 女性にやさしい町づくり
大類好彦	① これからの財政 ② 尾花沢まつり ③ 除雪等
菅野修一	① ふるさと納税額20億円へのプロセスはいかに ② 地域おこし、地域づくりの人材確保
菅野喜昭	① 「地域マネージャー」制度を活用した防災監等への退職自衛官の雇用 ② 生活排水等の処理 ③ 徳良湖湖畔のキャンプ場の拡張 ④ 災害発生時の温泉施設の無料開放
鈴木清	① 通園バスの安全装置を早急に ② 保育園はどのような体制になるのか ③ 特別養護老人ホームの待機者
奥山格	① 病児・病後児保育 ② 尾花沢口待合所 ③ 東北中央自動車道の東根・村山間の開通 ④ 小中学校の隣接される構想 ⑤ 最近続いた豪雨災害の復旧状況と今後の対策



鈴木 由美子 議員  
すずき ゆみこ

### Q 間口除雪と今後の除雪体制とは

#### A 県道の間口除雪を要望していく

**問** 市は「間口除雪」を推進しているのですが、県道の管理をしている県も同様の対策が必要だ。市民にとって市道、県道の区別はない。「間口除雪」は出来ているのか。県とどのように連携しているのか。特に本町地区の間口除雪の精度向上や排雪費軽減のため、できる範囲で市が空き家、空き地の購入、借用して今以上の雪置き場を確保すべきでは。

**答** 市道のように沿線のすべての家屋の「間口除雪」は難しい。そのため、引き続き県への重要要望事業としていく。雪置き場を市で確保することはモラルハザードなど、複数の課題がある。

### 財政計画のシミュレーション

**問** 令和7年から12年の間に、大規模事業が目白押しである。厳しい財政状況のなか何を第



### Q 尾花沢市のICT教育が目指すものとは何か

#### A 市報の市長コラムで、デジタル人材育成について述べておられた。どのように市で支援していくのか。

**答** 一優先と考えていくのか。全て必要な事業。実質公債費比率18%を超えないよう、様々な事業を取捨選択しながら、定められた計画開始年度に予算化できるように努める。

**答** 将来国内外問わず、社会で活躍できるように、学べる環境を準備していく。



目で見て体感できるプログラミング学習教材



和田 哲 議員  
わだ さとし

### Q 計画へ打撃 解体費用への影響はいかに

#### A 計画と実績は乖離している 議論を進めたい

**問** 昨今の原油・物価高騰による本計画への影響は、不可避と言わざるを得ない状況だ。将来に向けた持続可能な行財政運営のため、今後の解体費用に係る財政計画の見直しが必要ではないか。

**答** 計画策定時からこれまでの間、資材や労務単価などが高騰し続け、計画と実績に乖離が生じているのも事実だ。解体費用の見直しを図る必要があり、議論を進めていきたい。

**問** この計画は、公共施設などを整備するための基金を取り崩す。そのため、解体順序の決定は、財政面からしても重要だ。残りの対象施設の優先順位はどう決定していく考えか。

**答** 対象施設は残り5施設となっており、今後とも近隣住



### Q 旧市民会館は築59年が経過してあり、解体対象施設の中では最も古い建築物だ。地域の安心安全を確保し、将来に向けた持続可能な行財政運営のためにも、空き公共施設および北町再整備の両計画を確実に進めていただきたい。

**答** 北町地区の再整備計画についても、丁寧に話し合いを進め、空き公共施設解体計画に反映させたい。





小関 英子 議員

こせき えいこ

### 道の駅・防災機能強化と観光活用を

#### A 事業継続計画の策定、芦沢駅と連携を図る

**問** JR芦沢駅に設置しているスタンプ活用と道の駅の連携を図る考えはあるか。

**答** 芦沢駅には、平成30年に利用促進と観光誘客を目的に、2つのスタンプを重ねると1つの絵が完成するスタンプを設置している。希少価値を売りにしている。芦沢駅に道の駅への誘導サインの設置など工夫していく。



**問** 防災機能強化と訓練をどう図るか。

**答** 災害用蓄電池や自家発電機、防災トイレ設置など進んでいる。今後は、災害時の事業継続計画を策定し、地域の方々と利用者一体での訓練を行う。

### 米の消費拡大

**問** ふるさと納税の返礼品に、米と関連した体験型を加える考えはあるか。

**答** 関係人口や移住にもつながるよう寄附者のニーズを把握していく。

**問** 米をバイオマスプラスチックとして活用する考えはあるか。

**答** 原料調達に関する問い合わせもある。環境に優しい活用を目指していく。



大類 好彦 議員

おおるい よしひこ

### 実現可能な尾花沢まつりにするために

#### A 慣例に捉われない実施方法を模索する

**問** これからの財政について

**答** 建築費は新型コロナとウクライナ戦争前の1.5倍と言われている。学校の建設、ゴミ焼却所の建設、公立病院の建て替えなど、財政負担が増す。平成20年から24年の5年間、実質公債費比率が18%を超え起債許可団体となった。鶴子ダムの償還金が原因と考える。どのような問題があったと考えているか。

**問** おばなざわ花笠まつり

**答** 償還年度が進むほど、助成金が減少していくため償還金額が増え、起債許可団体となった。事業の取捨選択をしながら健全運営に努めたい。



**問** 係団体とまつりの役割分担などを見直していく必要がある。市ではどのように考えているか。

**答** 今冬、祭り行列部会を中心慣例にとらわれない実施方法と、輪番制や地区内の枠に捉われない新しい方法を議論していきたい。

### 除雪など

**問** 市長は、選挙中に除雪作業を組合のような組織を作った取り組みかと言っている。いつ頃から組合を立ち上げようと考えているか。組合員の夏の仕事は何をするのかなど、どのように立ち上げを考えているか。

**答** 総務省の特定地域づくり事業協同組合制度を想定している。夏は農作業と冬は除雪作業で一年通じて雇用創出したい。



菅野 修一 議員

すがの しゅういち

### ふるさと納税20億円への取り組みはいかに

#### A 返礼品一番人気の尾花沢スイカ8万5千個必要

**問** ふるさと尾花沢応援寄附金の令和2年度の実績は5億8千万円であり、市長は令和7年度までに、20億円を目指したいと公約された。その方法や行程は。

**答** 寄附者は返礼品を重視するので、品質の高い特産品の提供が継続されるよう生産者に寄り添った取り組みを行っている。返礼品の主力である本市のスイカ、牛肉、米のさらなるブランド力の向上とPR強化が重要と考えている。また、オンラインワンストップ申請を導入したり、旅先納税も検討していく。



**問** マルチワークに従事する若者たちの募集は何名を予定しているのか。

**答** 市民ニーズを把握し、第7次尾花沢市総合振興計画から導き出される課題も捉えた人材の募集を考えている。

### 地域づくりの人材確保

**問** 地域づくり組合を立ち上げ、マルチワーカーを配置して

**答** 民間企業との連携をどうするか。私と地域、個人が思う間口。除雪はそれぞれ違っているので、いずれかのニーズに答えられる姿を目指していきたい。

**問** 企業版ふるさと納税制度の認知度が低い。市長のトップセールスが求められるが、本市と縁のある企業訪問を積極的に行うってどうか。

**答** 今年度は、2社から合計50万円の申し込みをいただいた



菅野 喜昭 議員

すがの よしあき

### 防災監などの採用は

#### A 来年度の早期配置を検討

**問** 地域防災マネージャーの資格を持つ退職自衛官を防災監などに採用してはどうか。

**答** 地域防災マネージャーの役割や効果を検証しながら、来年度の早い時期に配置できるように検討していく。

### 生活排水等の処理

**問** 生活排水処理施設など、普及率も向上している。合併浄化槽など設置の補助制度を見直しはどうか。

**答** 今年5月策定の環境基本計画では、単独浄化槽から合併浄化槽への切り替えを促している。指定地区浄化槽整備事業の見直しを図り、一般地区浄化槽整備事業を拡充する方向で、次年度から取り組めるよう検討していく。



### キャンプ場の拡張

**問** 徳良湖湖畔のキャンプ場を拡張して、株式会社ふるさと振興公社の収入に寄与してはどうか。

**答** 拡張に際しては、浄化槽の法規制や用地の確保などハード面での検討が必要であり、徳良湖マスタープランで計画されているグランピングスペースの設置に合わせ、検討すべきと考えている。

### 温泉施設の無料開放

**問** 各種災害が発生した場合は、市内の民間の温泉施設も含め無料開放してはどうか。

**答** 市民への迅速な支援が可能なよう、災害時応援協定の締結に向け早急に協議を進めていきたい。

# 議会改革

# 議会DX(デジタル化)はじまりました!

コロナ禍の中でテレワーク推奨。タブレット議会の推進が一步一步進んでいます。

令和4年の11月30日から12月8日まで開催された12月定例会より、本会議中のタブレット活用で、庁舎内のペーパーレス化、デジタル化を進めています。



常任委員会のテレワークの様子



タブレットの活用方法やSNSを活用した公聴について調査研究中



## ただいま「議会基本条例」策定議論中!

(予告) 117号ではパブリックコメントを、議会SNSにて情報発信し、みなさまからの声を募集する予定です。議会改革を進めるにあたり議員間でみなさまと情報交換する場のあり方を、様々研究中であります。ご意見よろしくおねがいします!



「みなさまの声を  
お待ちしております。」

市のホームページから **市議会インターネット中継・録画も見てください!**

尾花沢市議会 検索 [www.city.obanazawa.yamagata.jp](http://www.city.obanazawa.yamagata.jp)



鈴木 清 議員  
すずき きよし

Q 弟妹も卒園させるべきではないか

A 上の兄姉が卒園するまで受け入れる

保育園はどのような体制になるのか

問 本町地区の保育所再編により、園児募集は2園に集約はおもだか保育園は新規入所の受付はなく、継続入所・兄弟入所はご相談くださいとあるが、転園でなく弟妹も兄姉と同じように卒園させるべきではないか。

答 持続的な保育体制を維持するため、通常保育を民間に特定保育を公立で担う方針である。在園児の弟妹は、上の兄姉が卒園するまでの間に限り受け入れることとしている。

問 通常保育は年々少なくなるが、保育士の安定的な雇用は維持できるのか。おもだか保育園は大きく考えているか。

答 現在、公立保育園4園で職員は、正職員24名・会計年

度任用職員37名。入所児童数が減少していけば、正職員の比重が高まっていくと考える。おもだか保育園は大きくさない。

特別養護老人ホームの待機者

問 本市の特別養護老人ホームの入所の待機者は、山形県と県内で三番目に高い。次期の第9期介護保険事業計画(令和6〜8年)では増床計画をすべきではないか。

答 介護保険料の増額につながる恐れもあることから慎重な判断が求められる。実態調査などで市民ニーズを把握しながら持続可能な介護サービスを検討して行く。



誰でも早く入所できるように



奥山 格 議員  
おくやま きわむ

Q 尾花沢待合所に電気をひき暖房を設置すべきではないか

A 防火管理上暖房器具の設置は見送った

病児・病後児保育

問 この2年間の利用実績は、事業費の割合に、登録者数、利用者数、延利用日数が大変少ないのではないかと。本市の施設を利用しないでも他市の施設を利用して他市の施設を利用するように切り替えるべきではないか。

答 利用実績については、今年度は11月末時点で延べ10日、利用児童は2名。昨年度は延べ19日、利用児童は9名である。他市の病児・病後児保育施設を利用した実績は、延べ18日、村山市2日、東根市16日。子育てのセーフティネットとして欠かせないもので、連携中枢都市圏の連携事業では、相互利用がすでに行われており、広域的な受け皿になっている。

尾花沢待合所

問 パレットスクエアが閉鎖になるために、尾花沢待合所のトイレや電気や暖房が使えなくなる。これでは冬期間待合所を利用する市民が大変である。市民が快適にバスを待てるようにすることはできないか。

答 尾花沢待合所は、本市と他市町を結ぶバスと市営バスの重要な拠点停留所で、パレットスクエア閉鎖後も解体までは引き続き借用できる。トイレについては、民間事業者から借用できるが、暖房については改修工事が必要で、無人の施設の暖房器具の設置は、防火管理上安全が確保できないため、設置を見送った。

